

2024年1月14日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**
第66巻第41号(通算3373号)
教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう
週報

教会標語

かみさま 神様がすべてのひととともにおられる
ことを証ししていく教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

神はこの世を大切に思い、ひとり子を差し出した。ひとり子に信頼をもってあゆみを起こす人が
みな、滅びることなく、永遠のいのちを得るようになるためである。(ヨハネによる福音書3:16)

こうたんせつ
降誕節

だい しゅじつれいはい
第3主日礼拝

れいはい
《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでも
ご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をして頂きます》

ぜんそう もくとう
前奏(黙祷)

ちよさくけんしょうめつ
AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

まね ことば
招きの詞

しんと てがみ
ガラテヤの信徒への手紙

しょう せつ
1章 11b-12節

さんびか
賛美歌

ばん あさ しゅ
21-472番「朝ごとに主は」(©JASRAC)

せいしょ
聖書

ふくいんしょ
ヨハネによる福音書

しょう せつ
1章 35-51節

いの
お祈り

さんびか
賛美歌

ばん とも い
21-419番「さあ、共に生きよう」(©JASRAC)

メッセージ

とも とも
「友と共に」

うしだ ただし ぼくし
牛田 匡 牧師

さんびか
賛美歌

ばん わたし
21-563番「ここに私はいます」(©JASRAC)

しゅいの
主の祈り

ばん てん わたし ちち きょうだんさんびかかいていいんかい
21-62番「天にいます 私たちの父」(©教団讚美歌改訂委員会)

ささげもの
献げ物(*)

はけん
派遣

ばん かみ めぐ う せつ
21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ) (©JASRAC)

しゅくふく
祝福

うしだ ただし ぼくし
牛田 匡 牧師

こうそう
後奏

ばん きょうだんさんびかいいんかい
アーメン コーラス (21-40-6番) (©教団讚美歌委員会)

ほうこく
報告

ページ さんしょう
(4頁をご参照ください)

せき すわ
《席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

* 「献げ物(献金)」は参加費ではございません。

うけつけ けんきんばこ
受付に献金箱がございます。ご用意のある方のみ、お献げください。

まね
ことば
招きの詞

ガラテヤの信徒への手紙 1章 11-12節(聖書協会共同訳©日本聖書協会)

¹¹ 私が告げ知らせた福音は人によるものではありません。¹² なぜならこの私は、その福音を人から受けたのでも教えられたのでもなく、実にイエス・キリストの啓示を通して受けたからです。

聖書

ヨハネによる福音書 1章 35-51節(聖書協会共同訳©日本聖書協会)

³⁵ その翌日、また、ヨハネは二人の弟子と共に立っていた。³⁶ イエスが歩いておられるのに目を留めて言った。「見よ、神の小羊だ。」³⁷ 二人の弟子はそれを聞いて、イエスに従った。³⁸ イエスは振り返り、二人が従って来るのを見て、「何を求めているのか」と言われた。彼らが、「ラビ——『先生』という意味——どこに泊まっておられるのですか」と言うと、³⁹ イエスは、「来なさい。そうすれば分かる」と言われた。そこで、彼らは付いて行って、どこにイエスが泊まっておられるかを見た。そしてその日は、イエスのもとに泊まった。午後四時ごろのことである。⁴⁰ ヨハネから聞いて、イエスに従った二人のうちの一人名は、シモン・ペトロの兄弟アンデレであった。⁴¹ 彼は、まず自分の兄弟シモンに会って、「私たちはメシア——『油を注がれた者』という意味——に出会った」と言った。⁴² そして、シモンをイエスのもとに連れて行った。イエスは彼に目を留めて、「あなたはヨハネの子シモンであるが、ケファ——『岩』という意味——と呼ぶことにする」と言われた。

⁴³ その翌日、イエスはガリラヤへ行こうとしたときに、フィリポに出会って、「私に従いなさい」と言われた。⁴⁴ フィリポは、アンデレとペトロの町、ベトサイダの出身であった。⁴⁵ フィリポはナタナエルに出会って言った。「私たちは、モーセが律法に記し、預言者たちも書いている方に出会った。ナザレの人で、ヨセフの子イエスだ。」⁴⁶ ナタナエルが、「ナザレから何の良いものが出ようか」と言うと、フィリポは、「来て、見なさい」と言った。⁴⁷ イエスは、ナタナエルがご自分の方へ来るのを見て、彼のことをこう言われた。「見なさい。まことのイスラエル人だ。この人には偽りが無い。」⁴⁸ ナタナエルが、「どうして私を知っておられるのですか」と言うと、イエスは答えて、「私は、あなたがフィリポから話しかけられる前に、いちじくの木の下にいるのを見た」と言われた。⁴⁹ ナタナエルは答えた。「ラビ、あなたは神の子です。あなたはイスラエルの王です。」⁵⁰ イエスは答えて言われた。「いちじくの木の下にあなたがいるのを見たと言ったので、信じるのか。それよりも、もっと大きなことをあなたは見るであろう。」⁵¹ さらに言われた。「よくよく言っておく。天が開け、神の天使たちが人の子の上に昇り降りするのを、あなたがたは見ることになる。」

《先週のメッセージより》1月7日 新年礼拝

「私の神様」より

水谷憲牧師

聖書 ヨハネによる福音書 1章 29-34節

西方教会におけるクリスマス最終日である1月6日、キリスト教の暦は「公現日（キリストがこの世に公に現れた日）」とされている。それは単にキリストがこの世に生まれたというだけではなく、「全世界にキリストの輝きが及ぶようになった日」ということ。ある時、洗礼者ヨハネは、近づいてくるイエス・キリストを指して言った。「見よ、世の罪を取り除く神の小羊だ」「私はこの方を知らなかった」。洗礼者ヨハネはイエスの親戚なのに、それを知らないとはどういうことか。この「知る」とは「頭で理解」ではなく「体全体で、人格的・体験的に」知る、という意味で使われている。つまり、ヨハネはそれまでナザレのイエスのことを、単なる自分の親戚として知ってはいたが、彼が自分にとってどんな存在かということまでは知らなかった。しかし今や彼は、イエスの上に霊が鳩のように降るのを見たことによって、彼が啓示によって告げられた神の小羊、聖霊によって洗礼を授ける人であることの確信に至ったのだ。「私はこの方を知らなかった。しかし～」と2度も繰り返されているこの言葉は、今までは知らなかったけれども、でも今は知っている、というヨハネの喜びの叫びのようだ。

私たちはこのヨハネのように、万感の思いでイエスのことを「この方こそ神の小羊・私のための救い主」と告白できるのか。聖書を読んだ知識としてではなく、本当にイエスが自分にとっての救い主であるという確信を、実感として持っているのか。もしかしたら、私も含め本当には持っていないのかも知れない。しかし、シモン・ペトロであってもそんな確信は実は持っていなかったし、イエスをそれでもキリストと信じたい、という思いさえあるならば、私たちにその確信はいつかきっと与えられるだろう。

たゆまず祈り、聖書とそこに伝えられるキリストの姿に学び、それに倣ってたくさんの隣人に愛を持って仕えていこう。その歩みの中でいつか必ず、私たちにもキリストを「この人こそ私のための救い主、私の神様だ」と確信を持って告白できる時が与えられることを信じつつ、新しい年を歩んでいきたい。新年早々起こった様々な出来事や、今でも世界中で続く紛争のことなどを思うと、私たちは「あけましておめでとうございます」とはなかなか軽々しく言えない。けれどもどうか、私たちにとって新しいこの年が、神様の守りと導きの中でよいものとなりますように。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook

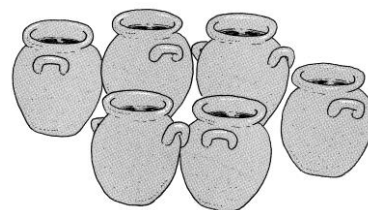


YouTube



◎ 先週の報告 1月7日 新年礼拝

礼拝出席 大人 10名 献金 大人 9,000円 中継視聴者数 22回 感謝
さんと さんが、初めて来会されました。



◎次週 2024年1月21日(日) 降誕節第4主日礼拝

招きの詞 ヨハネの手紙Ⅰ 1章 3-4節
聖書 ヨハネによる福音書 2章 1-11節
メッセージ 「水がめに水をなみなみと」 水谷憲牧師
賛美歌 265番 (©讚美歌編集委)、286番 (©JASRAC)、393 (©讚美歌改訂委)
礼拝の中で1月の誕生者祝福式を行います。

◎お知らせ

- ・本日、礼拝後に釜ヶ崎・いこい食堂支援のための「おにぎり作り」を行います。
- ・これまでの「週報」や「メッセージ(全文)」は、ホームページに掲載しています。また中継録画のメッセージ部分をYouTubeでご覧いただくことも可能です。それぞれの方が参加しやすい形で礼拝にご参加ください。
- ・2023年度のクリスマス献金は、総額62,000円でした。ご協力をどうもありがとうございました。感謝をもって、下記の6つの団体に対し緊急性を考慮した上で献金させていただきます。①関西学院大学神学部後援会(5,000円)、②日本基督教団部落解放センター(10,000円)、③一般社団法人・神戸国際支援機構(15,000円)、④生活困窮者支援(含・釜ヶ崎いこい食堂おにぎり支援)(10,000円)、⑤アハリー・アラブ病院を支援する会(12,000円)、⑥関西労働者伝道委員会(10,000円)。
- ・1月17日18時から「兵庫県南部大地震記念の日追悼礼拝」が兵庫教区クリスチャンセンターにて開催され、オンラインでも中継配信されます。下記のURLもしくは、右下のQRコードよりYouTubeにアクセス下さい(礼拝の式次第は日本基督教団兵庫教区のウェブサイトで、礼拝の数日前からダウンロードして頂けます)。
https://www.youtube.com/watch?v=R7_lk_wevhw
- ・1月28日の礼拝は河内地区有志教会の「講壇交換礼拝」として、住道一粒教会(大東市)の武久盾牧師が担当されます。久宝教会からは牛田牧師が小阪教会(東大阪市)に行きます。また同日の午後、14時~16時半にかけて、住道一粒教会を会場として、河内地区有志教会女性会が開催されます。

兵庫県南部大地震
記念の日追悼礼拝

◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
1/21	水谷憲牧師	誕生者祝福式
1/28	武久盾牧師 (住道一粒教会)	河内地区有志教会講壇交換礼拝 14時~ 河内地区有志教会女性会 (於:住道一粒教会)
2/4	牛田匡牧師	教会を考える会
2/11	鈴木貴博牧師 (大阪大道教会)	関西労働者伝道委員会デイ講壇交換礼拝

